

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・9月は2度の連休ともかなりの人出があり、秋物商品が好調であった。高速道路料金上限千円の終了や東日本大震災の影響等も薄れつつあるようで、観光客、地元客共に商店街への出足が良い。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の増加に加え、客単価も維持されており、業績に寄与している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・9月20日の新型車発表以降、販売量、来店数共に好調である。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・節約ムードが高まる中、低燃費、低価格である第3のエコカーが発売され、予想を上回る受注を獲得した。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・営業戦略が功を奏し、旅行者を中心に宿泊客が若干増加した。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・来客数が前年に比べて増加している。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・東日本大震災や台風被害等の影響からか、客の意識が買物に向いていない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・東日本大震災の影響が落ち着いて以降、客の動きが停滞している。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・月初は開店祝いの需要があり、また敬老の日に係る注文も多かったが、それ以外では街の人出も少なく、極端な月であった。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月に比べて、来客数及び売上高共に若干下回った。婦人、紳士衣料雑貨、宝飾品等は前年並みを確保したが、ブランド商品群、呉服、美術品、リビング用品、食品等が前年割れとなった。秋物のファッション関連商品は前年並みの動きであった。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・東日本大震災による特需が終息し、その後は低調が続いている。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・牛肉の放射能汚染問題による影響は弱まってきているが、いまだに1割以上の減少が続いている。また、野菜価格の高騰など日常食材に影響する事象が続いている。
		スーパー（財務担当）	単価の動き	・全体的に横ばいである。台風等の特殊要因を除けば大きな変化は無い。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・通勤時、昼食時、帰宅時のピーク時間帯の来客数及び客単価共に、増加傾向にある。特に、弁当、おにぎり、パンなどの食事系が好調である。例年よりも気温低下が早いことも影響しているとみられる。
衣料品専門店（経営者）		来客数の動き	・9月中旬までは残暑が厳しく、前年割れであったものの、台風の襲来以降は急激に気温が低くなり、レディースを中心に全体的に良くなった。	
衣料品専門店（総務担当）		来客数の動き	・客単価、来客数共に前年を下回った。マイナス幅は拡大していないものの厳しい水準にある。特に台風は、4日間分の来客数の落ち込みを招いた。	
乗用車販売店（従業員）		販売量の動き	・エコカー購入補助金制度終了前の駆け込み需要があった前年に比べ、今年は販売量が上向かず、さっぱりである。	
乗用車販売店（役員）		販売量の動き	・9月に入っても注文が伸びず、売上も減少傾向にある。政治空白や東日本大震災の影響、また台風災害が経済に打撃を与えている。	
旅行代理店（支店長）		販売量の動き	・国内個人旅行販売については前年同月比90%、海外個人旅行販売については前年同月比110%であり、いずれも3か月前と同水準で推移している。	
通信会社（企画）		お客様の様子	・引き続き、比較的高額な商品への引き合いが堅調である。	
やや悪く なっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・地上デジタル放送移行に伴う需要が終了して、唯一のけん引役であった家電業界も自然淘汰に入った。拡大を続けた低価格志向の専門店も集約される傾向が顕著になっている。各地商店街は低迷が続く、光明が見える要素がない。	

	一般小売店 〔酒〕（販売担 当）	販売量の動き	・ 9月は台風の影響で営業日数が減り、売上に影響した。また、台風被害もあって節約モードに入っている。	
	百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・ 来客数が減少してきている。それ以上に、販売点数が減っている。	
	スーパー（企 画・営業担当）	販売量の動き	・ 夏以降、生鮮食料品の低迷が続いている。牛肉の放射能汚染問題や、野菜、果物の相場高、そして魚も東北産の敬遠がみられる。一方、朝晩涼しくなった9月中旬以降、衣料品、住関連品の秋物の動きが良い。	
	コンビニ（総 務）	来客数の動き	・ 暑さが和らいだころから来店客数が減少し、9月に入っても台風や天候不順により、来店客数の前年割れが拡大している。	
	家電量販店（店 員）	販売量の動き	・ 大型商品については、販売数が減少している。また、まとめ買いやついで買いが減り、1人当たりの購入点数が減少している。	
	家電量販店（営 業担当）	販売量の動き	・ テレビの落ち込みが大きいことに加え、その他の商品の動きも鈍い。冷蔵庫、洗濯機については、例年並みへ回復しつつある。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・ 3か月前と比べて売上は減少している。東日本大震災の影響からか、高知県へのビジネス出張が少なくなっている。また、地元人の飲食機会も減っている。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・ 9月はお遍路の客が増えてくる時期であるが、東日本大震災の影響からか、前年に比べ少ない。街中では昼間の乗車が減っており、夜間も1時間半～2時間待機の挙句に近距離乗車と厳しい。	
	通信会社（営業 担当）	来客数の動き	・ 9月の来店者数は、6～8月に比べて1割程度減少した。認知度が上昇しているスマートフォンへ機種がシフトされつつある。	
	通信会社（営業 担当）	お客様の様子	・ 夏のキャンペーンや新商品発売時期が終了したため、来客も減少傾向にある。	
	ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・ ゴルフシーズン到来であるが、来場者数は芳しくなく、週末の予約率も非常に悪い。加えて、客単価も下落している。	
	競艇場（職員）	販売量の動き	・ 9月の売上は、前月比変わらず、3か月前比14%減少、前年比110%増加となった。前年は施設改善工事で営業日数が少なかったため見かけ上は増加した。1日当たりの売上では、前月比22%減少、3か月前比8%減少、前年比では微増したが、全般的には振るわなかった。	
	美容室（経営 者）	来客数の動き	・ 競合店が増えたためか、来客数が減少してきた。	
	悪く なっている	一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	販売量の動き	・ 外商による大口売上が、前年比で落ち込んでいる。
		家電量販店（店 長）	販売量の動き	・ 3か月前は売上伸長率が120%、来客数が110%以上あったが、9月は伸長率70%、来客数は91%となった。特にテレビ販売台数は、前年比33%と非常に落ち込んだ。
企業 動向 関連	良くなっている	一般機械器具製 造業（経理担 当）	受注量や販売量 の動き	・ 受注量、販売量は増加傾向にあり、生産量も順調に推移している。
	やや良くなっている	木材木製品製造 業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・ 全体的に景気は下向きであるが、建築業界においては、東日本大震災の影響も落ち着き、着工数が若干上昇してきた。
	変わらない	パルプ・紙・紙 加工品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・ 引き合い件数が増えていないことに加えて、値引き要請が強く、原材料高によるコスト増の状況下にもかかわらず値上げができない。
		鉄鋼業（総務部 長）	受注量や販売量 の動き	・ 受注、販売量は高水準を維持している。
		建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・ 競争が激しく、受注が全然伸びない。
		輸送業（経営 者）	取引先の様子	・ 雰囲気に変化を感じるができない。
		通信業（部長）	取引先の様子	・ 取引先の様子からは、特に顕著な変化がみられない。
		公認会計士	取引先の様子	・ 取引先の決算状況や月次試算表から、前年比で変化の無い企業が増えており、景気は落ち着いているようにみられる。
	やや悪くなっている	繊維工業（経営 者）	取引先の様子	・ 当社の受注量は順調であるが、ホテルや観光地関係の業者では支払遅延がみられる。全体的に売上高、利益率が悪化している。

	電気機械器具製造業（経理担当）	それ以外	・受注数は確保しているものの、円高の影響により、販売額は実質目減りしている。	
	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・公立学校の耐震補強工事の発注等により公共工事は増加しているが、落札条件が厳しく、当社の採算ラインに合わず契約がとれない。	
	輸送業（営業）	競争相手の様子	・これまで地方圏発の物流案件には見向きもしなかった都市部の同業者が、本州での案件減少に見切りをつけたのか、本格的に四国に進出している。既存価格からはるかに安い価格で攻勢をかけてきており、地元企業の経営を脅かす深刻な問題となっている。	
	広告代理店（経営者）	それ以外	・資材や補材等の価格上昇が影響してきており、売価に転換できず利益率に影響している。	
	悪くなっている	輸送業（支店長）	受注価格や販売価格の動き	・コストダウンを図りたい荷主から、受注単価改定要請がある。加えて、広島など四国地域外の同業他社による低価格競争も熾烈化し、受注量に影響が出ている。
雇用 関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業）	求職者数の動き	・県内では、就職意欲のある求職者に対する緊急雇用対策事業や基金訓練が更に強化されている。
		人材派遣会社（営業部長）	求人数の動き	・派遣要請が増加しつつある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の求人数は、確実に上向きで推移している。ただし、9月は大型店の大量求人という特殊要因もあった。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・工場の求人等は落ち着いており、景気に変化はみられない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・カーディーラーをはじめ、どの業種も広告出稿が増加していない。街に出ても夜は閑散としており、風評被害の影響からか、肉屋などの小売店も低迷している様子である。
	やや悪くなっている	求人情報誌制作会社（編集者）	周辺企業の様子	・当地域の製造業、特に造船関係では受注が減少している。さらに、円高の影響により数年間の落ち込みは覚悟しているとの話を聞く。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・正社員雇用を求める求職者と、非正社員採用を志向する企業とのミスマッチが続いており、新規求職者数が増加に転じた。
		民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・採用を手控える企業が多く、求人数が減少している。中途採用について、より慎重に見極めようとする企業が増えてきている。
	悪くなっている	-	-	-